

平成22年4月1日～平成23年3月31日

# 報告書

第88期



東映株式会社

証券コード：9605

# 小川の辺

おがわのほとり



©2011 「小川の辺」製作委員会

海坂藩士・戌井朔之助が受けた藩命は、親友の佐久間森衛を討つこと。藩政を痛烈に批判して脱藩した佐久間への裁きだった。民を想って正論を訴えた友を斬らねばならぬのか…朔之助の心は揺れた。しかも佐久間は、妹・田鶴の夫。田鶴は武士の妻として、手向かってくるに違いない。妹を斬っても主命に従えと諭す父に、涙を流す母。妻は夫の身を案じながらも、気丈に振る舞う。

翌朝、朔之助は田鶴への想いを秘めた奉公人・新蔵を連れ旅立つ。二人の隠れ家は、兄妹と新蔵が幼い頃に遊んだような、小川の辺にあった。遂に向き合う朔之助と佐久間。義と情の狭間で揺れ動きながらも背筋を伸ばして運命を受け入れようとする人間たちの「想い」の物語が、今、誕生する。

## 目次

株主の皆様へ	2
セグメント別営業概況	3
財務ハイライト連結	5
連結財務諸表要約	6
単体財務諸表要約	7
会社概要	8
株式の情報／株主優待のご案内	9
株主メモ	10

## 株主の皆様へ

※百万円単位で記載した金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社は第88期事業年度の期末決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済対策の効果等により、企業収益が改善傾向に向かい、設備投資が増加するなど、一部には景気回復の兆しがみられたものの、急激な円高の進行、緩やかなデフレの継続、低水準で推移する雇用情勢など、景気は依然として厳しい状況にありました。さらに、3月に発生した東日本大震災の影響が加わり、大きな懸案を抱えて年度末を迎えるに到っております。当社を取り巻く事業環境におきましても、先行きへの不透明感から個人消費が伸び悩むなど、厳しい情勢下にありました。

なお、東日本大震災による当社グループにおける人的被害はなく、また、当社グループ各社の設備にも大きな損害はありませんでした。

このような状況のなかで当社グループは、映像関連事業におきましては、映画製作配給業・ビデオ事業・テレ

ビ事業の映像3部門の連携を強化し、興行関連事業及び催事関連事業の積極展開等により収益構造の改善をはかるとともに、観光不動産事業、その他の事業におきましても厳しい事業環境に対応して堅実な営業施策の遂行に努めました。その結果、当連結会計年度の売上高は1,088億6百万円（前年度比4.4%増）、営業利益は103億4千6百万円（前年度比19.7%増）、経常利益は122億8千1百万円（前年度比28.3%増）となり、また特別利益として貸倒引当金戻入額等3億8千2百万円を、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等26億2千5百万円を計上いたしまして、当期純利益は51億7千8百万円（前年度比110.9%増）となりました。

当連結会計年度の事業の概況は以上のとおりであります。今後におきましては、映像関連事業を中心に各事業部門とも営業成績の向上に全力を傾注し、また資産の有効活用と収益基盤の強化に取り組むとともに、経営の合理化・効率化をはかり、もって社業の安定向上に努力してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成23年6月  
代表取締役社長

岡田裕介

(岡田 剛)



# セグメント別営業概況

## 映像関連事業部門

映画製作配給業では、「相棒 -劇場版Ⅱ- 警視庁占拠！特命係の一番長い夜」が大ヒットしたほか、「仮面ライダーW FOREVER AtoZ/運命のガイアメモリ」「天装戦隊ゴセイジャー エピック ON THE ムービー」「仮面ライダー×仮面ライダー オーズ&ダブル feat. スカル MOVIE大戦CORE」「仮面ライダー×仮面ライダー×仮面ライダー THE MOVIE 超・電王トリロジー」「映画 ハートキャッチプリキュア！花の都でファッションショー・・・ですか!？」が好調に稼働し、「孤高のメス」も堅調に推移いたしました。これら7作品に「映画 プリキュアオールスターズDX3 未来に届け！世界をつなぐ☆虹色の花」等20本を加えた27本を提携製作し、6本の外社作品を加えた合計32本を配給（1本は他社配給）いたしました。ビデオ事業では、当社子会社・東映ビデオ株式会社との連携を密にして、劇場用映画のDVD作品を主力として販売促進に努める一方、ブルーレイディスクも引き続き販売し、当連結会計年度はDVDソフト、ブルーレイディスク合わせて510作品を発売いたしました。その結果、劇場用映画「ONE PIECE FILM STRONG WORLD」などのアニメーション作品および「仮面ライダー」シリーズの

DVD販売が順調でした。テレビ事業では、各局間の激しい視聴率競争により番組編成の多様化が進む一方、テレビ広告市場の落ち込みもあって、受注市場は厳しい状況にありますが、作品内容の充実と受注本数の確保に努め、当連結会計年度は60分もの「相棒」「科捜研の女」など98本、30分もの「仮面ライダーオーズ」「ワンピース」など279本、ワイド・スペシャルもの「土曜ワイド劇場 西村京太郎トラベルミステリー」など39本の計416本を製作して高率のシェアを維持し、また「天装戦隊ゴセイジャー」「仮面ライダーダブル」「仮面ライダーオーズ」などキャラクターの商品化権事業も順調でした。映像著作権事業では、劇場用映画・テレビ映画等の地上波・BS・CS放映権およびビデオ化権の販売に加え、携帯電話やパソコン向けに映像ソフトの有料配信を行い、その結果、旧作テレビ時代の放映権販売、「ONE PIECE FILM STRONG WORLD」、「仮面ライダー」シリーズのビデオ化権販売が好調でした。アニメ関連では、「ワンピース」や「ハートキャッチプリキュア！」の国内著作権事業が好調でした。そのほか、教育映像事業では、教育映像の製作配給・受注製作等を行い、2010年教育映像祭において「万引きは、ぜったい悪い!」「人権のヒント 地域編」「いわたくんちのおばあちゃん」が最優秀作品賞（文部科学大臣賞）を受賞しました。



「相棒 -劇場版Ⅱ- 警視庁占拠！  
特命係の一番長い夜」  
2010/12/23(木・祝)公開  
©2010「相棒 -劇場版Ⅱ-」パートナーズ

『映画 ハートキャッチプリキュア！  
花の都でファッションショー・・・ですか!？』  
2010/10/30(土)公開  
2011/3/11(金)レンタルリリース  
©2010 映画ハートキャッチプリキュア!製作委員会

『ONE PIECE FILM STRONG WORLD』  
2010/8/27(金)レンタルリリース  
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション  
©「2009 ワンピース」製作委員会

以上により、当部門の売上高は721億4千1百万円、営業利益は80億8千8百万円となりました。

### 興行関連事業部門

映画興行業では、2010年5月に「T・ジョイ京都」(京都市)を、2011年3月には博多駅直結の「T・ジョイ博多」(福岡市)をそれぞれ開業いたしました。また、賃貸していた渋谷T O E I②が株式会社東急レクリエーションとの賃貸借契約終了により返還されたため、24スクリーン増の182スクリーン体制(東映株直営館4スクリーン含む)となりました。

以上により、当部門の売上高は139億7千3百万円、営業利益は5億2千3百万円となりました。

### 催事関連事業部門

催事事業では、国際文化催事の「トリノ・エジプト展」をはじめとして、ファミリー催事の「ナンダーランド～ふしぎで遊ぶ夏休み～」、人気キャラクターショーなど各種イベントの提供を行うとともに、映画関連商品の販売など積極的な営業活動を展開いたしました。また、東映太秦映画村も堅調に推移しました。しかしながら、年度末にかけて震災の影響による催事の開催中止等もあり、その結果、売

上高は84億2千1百万円、営業利益は13億7千6百万円となりました。

### 観光不動産事業部門

不動産賃貸業では、特に商業施設の賃貸業において市場環境が厳しさを増しておりますが、引き続き「プラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「E~maビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が堅調に稼働いたしました。ホテル業においては、回復傾向にある需要に伴う集客競争と消費者の節約志向による価格競争の激化等により、業界環境は厳しい状況にありましたが、各ホテルとも収益の確保に向け堅実な営業活動を展開いたしました。しかしながら震災の影響もあり、その結果、売上高は70億2千9百万円、営業利益は25億5百万円となりました。

### その他事業部門

その他の事業では、景気低迷のさなか、懸命に営業活動を展開いたしました。その結果、売上高は72億3千9百万円、営業利益は4億5千9百万円となりました。



テレビ番組  
『仮面ライダーオーズ』  
©2010 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

T・ジョイ博多  
(JR博多シティ内)

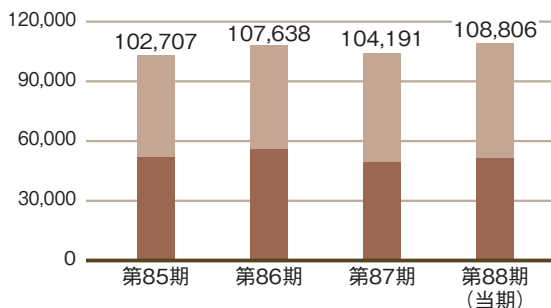
『トリノ・エジプト展』

新宿三丁目イーストビル

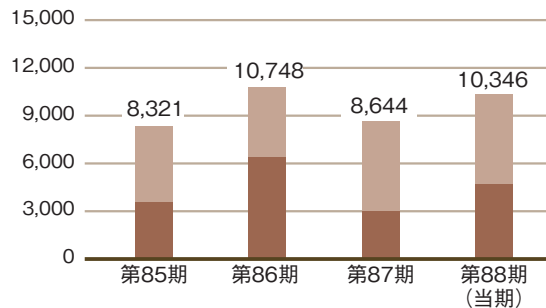
# 財務ハイライト ▶▶▶ 連結

■ 通 期  
■ 第2四半期

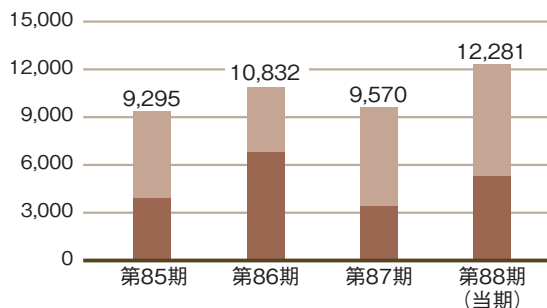
売上高 単位：百万円



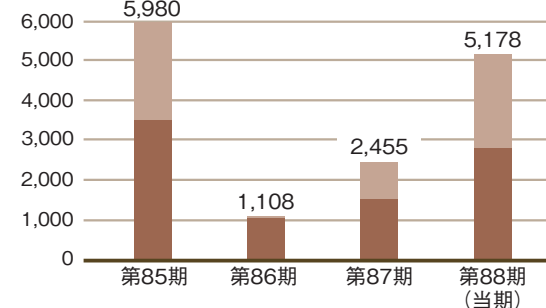
営業利益 単位：百万円



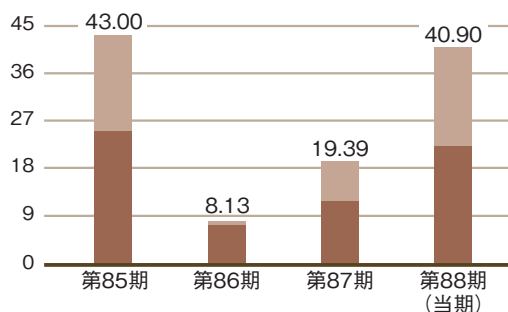
経常利益 単位：百万円



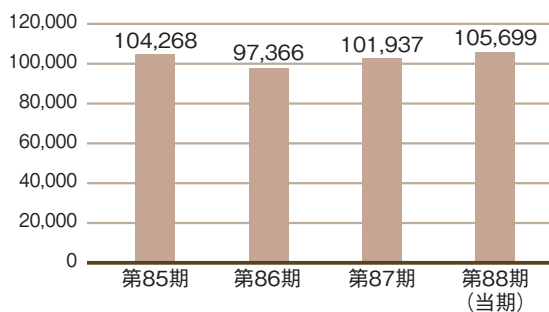
当期 (四半期) 純利益 単位：百万円



1株当たり当期 (四半期) 純利益 単位：円



純資産 単位：百万円



# 連結財務諸表 ▶▶▶ 要約

## 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	53,949	54,949
固定資産	159,383	157,067
有形固定資産	89,467	87,169
無形固定資産	1,233	1,677
投資その他の資産	68,682	68,220
<b>資産合計</b>	<b>213,333</b>	<b>212,016</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	47,127	37,156
固定負債	60,505	72,922
<b>負債合計</b>	<b>107,633</b>	<b>110,079</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	82,665	78,281
その他の包括利益累計額	2,546	4,155
少数株主持分	20,487	19,500
<b>純資産合計</b>	<b>105,699</b>	<b>101,937</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>213,333</b>	<b>212,016</b>

## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	108,806	104,191
売上原価	73,927	70,444
売上総利益	34,879	33,747
販売費及び一般管理費	24,533	25,103
営業利益	10,346	8,644
営業外収益	2,844	1,916
営業外費用	909	991
経常利益	12,281	9,570
特別利益	382	253
特別損失	2,625	3,648
税金等調整前当期純利益	10,038	6,175
法人税、住民税及び事業税	3,771	4,172
法人税等還付税額	△409	—
法人税等調整額	△81	△1,580
少数株主損益調整前当期純利益	6,757	—
少数株主利益	1,579	1,128
当期純利益	5,178	2,455

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,556	13,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,442	△3,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,636	△2,552
現金及び現金同等物の期末残高	26,265	29,788

## 連結株主資本等変動計算書 当期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
平成22年3月31日残高	11,707	21,742	52,205	△ 7,373	78,281	△ 1,091	5,354	△ 107	4,155	19,500	101,937
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 776		△ 776						△ 776
土地再評価差額金取崩額			0		0						0
当期純利益			5,178		5,178						5,178
自己株式の取得				△ 18	△ 18						△ 18
自己株式の処分		△ 0		0	0						0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 1,524	△ 0	△ 83	△ 1,608	986	△ 621
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	4,402	△ 17	4,384	△ 1,524	△ 0	△ 83	△ 1,608	986	3,762
平成23年3月31日残高	11,707	21,742	56,607	△ 7,391	82,665	△ 2,616	5,353	△ 190	2,546	20,487	105,699

# 単体財務諸表 ▶▶▶ 要約

## 貸借対照表

単位：百万円

科 目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	20,773	20,475
固定資産	110,882	111,639
有形固定資産	77,889	77,812
無形固定資産	389	392
投資その他の資産	32,603	33,434
<b>資 産 合 計</b>	<b>131,656</b>	<b>132,114</b>
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	39,047	31,433
固定負債	56,350	65,544
<b>負 債 合 計</b>	<b>95,397</b>	<b>96,978</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	33,286	31,391
評価・換算差額等	2,971	3,744
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>36,258</b>	<b>35,136</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>131,656</b>	<b>132,114</b>

## 損益計算書

単位：百万円

科 目	当期	前期
	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高	54,188	57,175
売上原価	38,020	40,625
売上総利益	16,167	16,550
販売費及び一般管理費	10,923	10,995
営業利益	5,244	5,554
営業外収益	849	999
営業外費用	861	918
経常利益	5,233	5,635
特別利益	169	120
特別損失	2,078	3,843
税引前当期純利益	3,324	1,912
法人税、住民税及び事業税	906	2,325
法人税等還付税額	△409	—
法人税等調整額	139	△1,482
<b>当期純利益</b>	<b>2,688</b>	<b>1,068</b>

## 株主資本等変動計算書 当期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

単位：百万円

	株 主 資 本								評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産計	
	資本金	資 本 剩 余 金			利 益 剩 余 金			自己株式	株主資本計	その他 有価証券 評価 差額金	土 地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計		
		資本 準備金	その 他 資本 剰余金	資本剰余金 合計	利 益 準備金	その 他 利益 剰余金	利 益 剰余金 合計							
平成22年3月31日残高	11,707	5,297	8,574	13,871	2,926	918	8,756	12,601	△6,789	31,391	△1,609	5,354	3,744	35,136
事業年度中の変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩						△12	12	—		—				—
剰余金の配当							△776	△776		△776				△776
土地再評価差額金の取崩額							0	0		0				0
当期純利益							2,688	2,688		2,688				2,688
自己株式の処分			△0	△0					0	0				0
自己株式の取得									△18	△18				△18
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										△772	△0	△772	△772	△772
事業年度中の変動額合計	—	—	△0	△0	—	△12	1,924	1,912	△17	1,894	△772	△0	△772	1,122
平成23年3月31日残高	11,707	5,297	8,574	13,871	2,926	905	10,681	14,514	△6,807	33,286	△2,381	5,353	2,971	36,258

# 会社概要 (平成23年3月31日現在)

## ■ 会社概要

■ 商 号	東映株式会社 TOEI COMPANY, LTD.
■ 設 立	昭和24年10月1日
■ 資 本 金	117億709万2,928円
	東京・大阪証券取引所1部上場
■ 従業員数	322名

## ■ 主要な事業内容

■ 映像営業部門	
映画製作配給業	劇場用映画の製作および配給
映画興行業	映画劇場の経営
ビデオ営業	ビデオソフト等の販売
テレビ営業	テレビ映画等の製作、キャラクターの商品化権営業
映像版權営業	各種映画の版權営業
国際営業	各種映画の輸出入
教育映像営業	教育映像の製作配給および受注製作
撮影所関連営業	各種映画の受注製作
デジタルセンター	ポストプロダクション（編集から完成までの仕上工程） 業務の請負、映像製作における技術・手法等の研究開発
■ 催事営業部門	イベントの提供、映画関連商品の製作販売
■ 不動産営業部門	不動産の賃貸および販売
■ ホテル営業部門	ホテルの経営

## ■ 主要な事業所

■ 本 社	〒104-8108 東京都中央区銀座3丁目2番17号 電話 03 (3535) 4641 (代表)
■ 撮影所および デジタルセンター	東京撮影所 (東京都練馬区)・京都撮影所 (京都市)・デジタルセンター (東京都練馬区)
■ 支 社	関西支社 (大阪市)・九州支社 (福岡市)
■ 映 画 劇 場	丸の内TOEI①・丸の内TOEI②・渋谷TOEI①・渋谷TOEI②
■ ホ テ ル	新潟東映ホテル (新潟市)・湯沢東映ホテル (新潟県南魚沼郡)・天王寺東映ホテル (大阪市)・松山東映ホテル (松山市)・福岡東映ホテル (福岡市)
■ 主な賃貸施設	渋谷東映プラザ (東京都渋谷区)・プラッツ大泉 (東京都練馬区)・新宿三丁目イーストビル (東京都新宿区)・オズ スタジオ シティ (東京都練馬区)・E~maビル (大阪市)・広島東映プラザ (広島市)・東映太秦映画村 (京都市)

## ■ 関係会社

■ 連結子会社	(株)東映ホテルチェーン、(株)東映建工、東映ビデオ(株)、東映アニメーション(株)、(株)東映エージェンシー、関西東映ビデオ販売(株)、(株)東映京都スタジオ、(株)東映テレビ・プロダクション、東映シーエム(株)、東映ラボ・テック(株)、東映貿易(株)、三映印刷(株)、東映衛星放送(株)、(株)ティ・ジョイ など
■ 主な関連会社	(株)テレビ朝日

## ■ 役 員

代表取締役社長	岡 田 剛
取締役専務	福 原 英 行
取締役専務	古 玉 國 彦
取締役専務	鈴 木 武 幸
取締役常務	間 宮 登 良 松
取締役常務	田 中 誠 一
取締役相談役	石 川 芳 彰
取締役	加 藤 貢 協
取締役	奈 村 協 徹
取締役	高 井 徹 之
取締役	多 田 憲 二
取締役	安 田 健 昭
取締役	越 村 敏 夫
取締役	君 和 田 正 夫
常勤監査役	渡 辺 繁 信
監査役	栗 野 隆 充
監査役	神 津 信 一
監査役	黒 田 純 吉

# 株式の情報／株主優待のご案内

## ■ 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

### ■ 株式数

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 147,689,096株

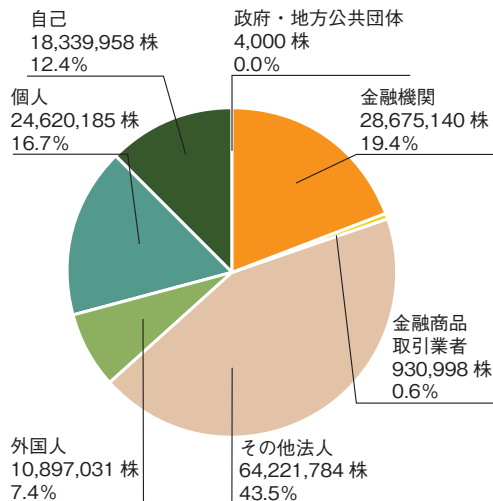
### ■ 株主数 14,029名 (前期末比288名増)

## ■ 大株主 (平成23年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社テレビ朝日	16,700	12.9
株式会社TBSテレビ	12,150	9.4
株式会社バンダイナムコホールディングス	7,130	5.5
東京急行電鉄株式会社	6,000	4.6
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	5,724	4.4
株式会社三井住友銀行	5,457	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,967	3.8
日本テレビ放送網株式会社	4,800	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,819	2.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,500	1.2

- (注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式18,339,958株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。  
 3. 上記大株主の状況は、株主名簿によっております。

## ■ 所有者別株式分布状況 (平成23年3月31日現在)



## ■ 株主優待のご案内

株主優待券発行基準		
株数	優待券枚数	
1,000株以上	毎月	1枚
2,000株以上	毎月	2枚
4,000株以上	毎月	4枚
7,000株以上	毎月	6枚
13,000株以上	毎月	8枚
20,000株以上	毎月	10枚
40,000株以上	毎月	20枚
60,000株以上	毎月	30枚

- ・毎年3月31日現在の株主に、8月から翌年1月までの6か月分を6月下旬に発行
- ・毎年9月30日現在の株主に、翌年2月から7月までの6か月分を12月中旬に発行

# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載URL	<a href="http://www.toei.co.jp/annai/">http://www.toei.co.jp/annai/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■ 株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 【手続き書類のご請求方法】
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

## ■ ホームページのご案内

◎2011「手塚治虫のブッダ」製作委員会

当社の事業内容、サービス案内、IR情報などに関する詳しい情報がご覧いただけます。

<http://www.toei.co.jp/>